

## パワーショベルを中国に不正輸出 容疑の社長逮捕

2010年6月22日 13:07

保存



中古パワーショベルを中国に不正に輸出したとして、福岡、熊本両県警の合同捜査本部は22日、熊本県八代市の貿易会社「西武興産」社長、堤広満容疑者（63）＝同市北原町＝と福岡市の貿易会社「アライバル」社長、杵鞭正和容疑者（37）＝同市中央区今泉1＝を外為法違反（無許可輸出）容疑などで逮捕した。

捜査本部によると、杵鞭容疑者は容疑を否認している。パワーショベルは北朝鮮の関係者とみられる人物から発注があったといい、捜査本部は中国経由で北朝鮮に渡ったとみて調べている。

2人の逮捕容疑は昨年4月に共謀し、経済産業相の許可を受けずにパワーショベル1台を福岡・博多港から中国の大連に不正輸出した疑い。

外為法は大量破壊兵器の製造などに用いられる可能性のある機器を輸出する際、経産相の許可が必要と規定。パワーショベルはミサイルの発射台などに転用される恐れがあるとしてこの対象になっている。

捜査本部によると、パワーショベルの輸出は西武興産が受注。同社は中国経由で北朝鮮に輸出しようとしたが、税関から経産相の許可が必要との指摘を受け、アライバル社名義で荷物を偽り、中国に輸出したという。

すべての記事が読み放題  
有料会員が初回 1 カ月無料

有料会員に登録する

無料会員に登録する

有料会員限定